

令和5年度 第1回 埼玉県北部地域医療構想調整会議 議事概要

1 日時及び会場

日 時：令和5年7月21日（金）午後7時から午後8時40分
場 所：深谷市・深谷公民館・大会議室及びZOOM

2 出席者

・調整会議委員（別紙名簿のとおり）

委員総数 37名 出席者 31名（会場 12名 ZOOM 19名）

・事務局

保健医療政策課、医療整備課、医療人材課、感染症対策課、本庄保健所、熊谷保健所

・傍聴者 3名 ZOOM

3 あいさつ

中山委員（熊谷保健所）

小林議長（熊谷市医師会会長）

閉会時あいさつ

鈴木副議長（本庄市児玉郡医師会会長）

4 議題

（1）議事1 令和5年度地域医療構想調整会議の開催スケジュールについて

資料1-1、1-2に基づき保健医療政策課から説明が行われた。

令和5年度の北部地域医療構想調整会議は今回を含め3回の開催を予定している。

主な議題として、

- ・医療機関対応方針の協議
- ・病院整備計画の公募
- ・病床機能報告
- ・外来機能報告
- ・医師の働き方改革の5つが挙げられた。

また、令和5年7月5日に開催された「埼玉県地域医療構想推進会議」の主な意見について説明が行われた。

【質疑・応答】

（小林議長）

医師の働き方改革について、委員から行政側からの支援もお願いしたいという意見もあると思うが、行政としてはどういった支援ができるのか。

（保健医療政策課）

各医療機関が宿日直許可や医師派遣の申請を労働基準監督署に提出し許可を得るというこ

とになります。申請方法を含めアドバイス等ができると考えている。

(小林議長)

北部地域では二次輪番を回して行くうえでも宿直、医師派遣などは重要になってくるのでよろしくお願ひしたい。

(2) 議事 2 医療機関対応方針の協議・検証について

資料 2-1、2-2、2-3、2-4、参考資料 1 に基づき、保健医療政策課から医療機関対応方針の協議・検証について説明がなされたのち、深谷赤十字病院の公的医療機関等 2025 プランについて、同病院の伊藤院長から説明が行われた。

【質疑・応答】

特になし。

(3) 報告 1 病院整備計画の公募、病床整備の進捗状況について

資料 3-1、3-2 に基づき医療整備課から病院整備計画に係る公募対象の医療圏と病床数、募集する医療機能、応募条件、県による病院整備計画の採択決定等及び埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について説明が行われた。

【質疑・応答】

特になし。

(4) 議事 3 紹介受診重点医療機関に係る協議について

資料 4-1、4-2 及び参考資料 2-1、2-2 に基づき保健医療政策課から令和 4 年度外来機能報告結果、紹介受診重点医療機関について説明が行われた。

なお、北部医療圏における基準と意向の合致状況では「基準を満たし、意向あり」とした医療機関は 3 病院であった。(資料 4-1 で①は「基準満たす・意向あり」、②は「基準満たす・意向なし」とされている。)

また、補足として伊藤委員から深谷季十字病院は当初、「意向なし」としていたが内容を再検討した結果、意向ありに変更した旨の説明があった。

【質疑・応答】

(小林議長)

①の基準を満たし、意向ありとした 3 医療機関については特別な事情がない限り紹介受診重点医療機関とし、②に関しては当該医療機関の意向を考慮しつつ、今後意向を再度確認し協議していくことになると思うが、当調整会議として、委員の皆様から特に意見がなければ原案どおり承認したいと思うがよろしいでしょうか。

(異議なし)

(小林議長)

ありがとうございました。

(5) 報告 2 医師の働き方改革に係る特例水準について

資料 5 に基づき医療人材課から令和 5 年度地域医療構想調整会議における検討予定事項として「医師の働き方改革への対応について」説明が行われた。

【質疑・応答】

(小林議長)

資料 5 の(参考) 二次医療圏ごとの特例水準申請医療機関数の見込みは北部で 2 つの医療機関ということか。

(医療人材課)

そうです。

(6) 議事 4 令和 3 年度病床機能報告定量基準分析結果について

資料 6-1、6-2、6-3 及び参考資料 3 に基づき保健医療政策課から説明が行われた。

【質疑・応答】

(鈴木委員)

詳細な分析は大切だと思うが、緊急事態宣言中でも実施する必要性はあったのか。

(保健医療政策課)

ご指摘のとおり、緊急事態宣言中の令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までの診療実績のデータを基に分析させていただいている。また、そのようなことを踏まえデータの慎重な取扱い方、進め方を検討してまいりたい。

(小堀委員)

病床機能報告と定量分析の結果が一致できるようになればいいと思うが、例えば、秩父圏域は高度急性期以外は一致しているようだが秩父圏域には高度急性期以外には特に医療的な問題はないのか。もしそうであれば、参考資料 3 のグラフは有効かなと思うがその辺はどうか。

(保健医療政策課)

秩父圏域においては高度急性期は 0 床であるが、それを踏まえうえで救急医療体制の整備、輪番制及び医師派遣などで急性期医療を提供していくなど県としても取り組んでおり、高度急性期 0 床という状況をカバーしていきたいと考えている。

(伊藤委員)

将来的な人口推計に基づいて埼玉県に必要な病床数の予想値に合うように受託業者が作成したものだと思うが、診療報酬などの関係もあり、県の考えに寄せてあげたいが、なかなか難しいということも承知していただきたい。

(保健医療政策課)

ご意見として承ります。

(7) 報告 3 感染症予防計画について

資料 7 に基づき感染症対策課から説明が行われた。

【質疑・応答】

(小堀委員)

新型コロナの診察をしていた内科医が患者対応していた結果、医師が命を落とすということがあった。

内科医が欠員となり病院内で対応したが、医師への補償、病院への補償等を出していただけるのか、また、そのような計画はあるのか。

(感染症対策課)

今後の予防計画の中には、人材派遣という項目もあり、診察にあっていた医師が感染した場合など他の病院から支援が得られることも想定している。

県としても各病院様と話し合っただけで協定を結んでいきたいと考えている。

【全体を通して】

(廣澤アドバイザー)

今回北部圏域の第1回目ということですが、7月から始まる各地域での地域医療構想調整会議ですが、一番早い開催ということで苦労様でした。

今回いろいろありましたが、紹介受診重点医療機関ということで、今回初めて3病院がこの認定を受けるということで今後も他の圏域でも広がっていくのかなと思います。

医療機関の対応方針の協議に関しては公的医療機関として深谷赤十字病院から今回報告していただきましたが、救命救急医療センターあるいは地域医療支援病院として中心的役割をされているのかなと思いました。

また、働き方改革ですが、先ほど予定も示されましたが推進会議でも出ましたのは、病院等では宿日直許可を労働基準監督署から取得するにあたって、行政サイドからの働きかけしていただきたいということでもあります。

病床機能報告に関してですが、いわゆる埼玉方式を採用しており、これは数値として報告するもので、将来の病床の必要病床数との単純に比較するものではなくて、これを利用して丁寧な議論をしていただきたいということでもあります。

【その他質疑・応答】

(小堀委員) (6) 議事4 令和3年度病床機能報告定量基準分析結果について

定量分析結果についてだが、例えば慢性期などバランスが取れているような結果になっているが、実際には入院するのに30～60日待ちということもある。

現状と分析結果があっていないこともある。一度検証しておく必要があると思う。

(小林議長) (7) 報告3 感染症予防計画について

改正感染症法への対応について、今後は各医療機関の感染症対応に関してこういった対応ができますかというような調査が入ってくるということか。

(感染症対策課)

新たな感染症発生時には、個々の医療機関にどのような形でご協力いただけるかを調査・協議させていただくと考えている

以上